

物性グループ事務局報

2006.10.16

目次

I.	物性委員長の挨拶	1
II.	選挙	3
III.	拡大物性委員会報告他	9
IV.	物性百人委員会規約	20
V	追加名簿	22
VI	物性委員名簿 (H.18.10.12 現在)	30

2006年・9月末日

物性委員長の任を終えるにあたって

佐藤 正俊

(名古屋大学・大学院理学研究科)

物性委員会の委員長の役を引継いで3年経ちました。私なりに物性コミュニティの役にたてればと考えておりましたが、結果として事務局長の鈴木順三先生や和田信雄、平島大の両先生に大きく依存してしまいました。また、他の皆様のご協力にも大変感謝いたしております。

在任中に私達を取り巻く環境が大きく変化しました。国立大学の法人化は、研究経費の配分について実質的变化をもたらし、予想通り基盤的校費のウエイトが小さくなりました。大型プロジェクトによる研究費取得が必ずしも得意でない(もしくはプロジェクト重視の資金配分が必ずしもいい結果を招くとは限らない)物性研究分野への影響がますます心配されます。これが、物性研究の推進に関する物性コミュニティからの適切かつ効果的な提言が今後、ますます重要になる所以で、物性委員会の役割も大きくなります。ただし、この物性委員会が、今後、物性コミュニティ全体の意見を集約する場として認知されていくためには、まず、多くの物性研究者に参加してもらうことが大切で、それが、コミュニティの意見を客観的に反映した活動を効果的にするための基盤だと思っています。

J. Phys. Soc. Jpn.(JPSJ)が抱えた問題については、私も大きな関心を持って取り組みました。“優れた論文をJPSJに投稿しよう”という趣旨の呼びかけ文をお配りし、150名近くの方々から賛意が寄せられました。また、そのことを添えた形で物理学会誌にも呼びかけ文を掲載させていただきました。現在、諸先生方の努力によって学術誌としてのJPSJの存立を確固とすべく種々の改革が進んでいることを喜んでいます。

学術会議の改編への対応、春・秋2回の物理学会の発表形態のたゆまぬ改善、PD問題への対応、さらには物性分野の研究手法の特徴に適した研究資金配分方式まで、物性研究者が努力しなければならない点や意見を述べなければならないことが山積しています。また、一方では、一

大学では実現できないような大型装置の設置をいかに実現していくか、もしくはサポートしていくか、さらには全国共同利用研究所の今日的役割をいかに考えるか、十分な議論がなされ、今後の活動に資するものとなっていくことを希望致します。このことにも関連して、12月7-8日に物性研究所の短期研究会として「新たな物性研究体制の構築」を採択していただいております。多くの方が議論に参加され、今後の指針がある程度さだまれば幸いです。

物性委員会では、新たな規約を設定し、物性委員長、事務局と協力して運営に当たる幹事20名を選出しました。そのコアメンバーを中心に物性委員全員が、物性分野の研究環境、さらには物理学研究環境の改善のために努力していく体制が整いましたので、新委員長のもとで発展していくことを切望いたします。長い間、ご協力のほどありがとうございました。

これまでの選挙の結果

物性研人事選考協議会委員 選挙結果 (同点の場合はくじによる)

(平成19年4月1日-平成21年3月31日)

18名投票

三宅和正	阪大基礎工 (理論)	6票
高島敏郎	広島大先端 (実験)	6票

次点 (同点の場合の順位はくじによる)

1. 川上則雄	阪大工 (理論)	3票
2. 岩佐義宏	東北大金研 (実験)	2票

物性委員会幹事 選挙結果 (同点の場合はくじによる)

(平成18年10月1日-平成21年9月30日)

76名投票

佐藤正俊	名大理	22票
高島敏郎	広島大先端	16票
後藤輝孝	新潟大理	14票
北岡良雄	阪大基礎工	13票
大貫惇睦	阪大理	12票
巨海玄道	九大理	12票
三宅和正	阪大基礎工	11票
秋光純	青学理工	10票
前川禎通	東北大金研	9票
上田和夫	東大物性研	8票
福山秀敏	東京理科大理	8票
前野悦輝	京大理	8票
矢ヶ崎克馬	琉球大理	8票
坪田誠	大阪市大理	8票
鈴木順三	名大理	7票
宮下精二	東大理	7票
小田垣孝	九大理	6票
高橋隆	東北大理	6票
押山淳	筑波大数物	5票
川上則雄	阪大工	5票

次点 (同点の場合の順位はくじによる)

1.	今田正俊	東大工	5票
2.	宇田川眞行	広島大総合	5票
3.	菅滋正	阪大基礎工	5票
4.	西田信彦	東工大理	5票
5.	榊原俊郎	東大物性研	5票
6.	町田一成	岡山大理	5票
7.	佐藤英行	首都大理	5票
8.	城健男	広島大理	5票
9.	播磨尚朝	神戸大理	5票
10.	高橋利宏	学習院大理	5票
11.	山田和芳	東北大金研	5票
12.	赤井久純	阪大理	5票

東京大学物性研究所共同利用施設専門委員会委員 選挙結果 (同点の場合はいくじによる)
(平成19年4月1日—平成21年3月31日) 74名投票

高島敏郎	広島大理	12票
前野悦輝	京大理	12票
巨海玄道	九大理	9票
和田信雄	名大理	8票
鈴木孝至	広島大先端	7票
野末泰夫	阪大理	7票
天児寧	信州大理	7票

次点(同点の場合の順位はいくじによる)

1.	世良正文	広島大先端	5票
2.	奥田雄一	東工大理	5票
3.	西田信彦	東工大理	5票
4.	網塚浩	北大理	5票
5.	舛本泰章	筑波大理	5票
6.	赤井久純	阪大理	5票

京都大学基礎物理学研究所運営委員 選挙結果 (同点の場合はいくじによる)
(平成19年8月—平成21年7月) 66名投票

倉本義夫	東北大理	21票
川上則雄	阪大工	14票
川村光	阪大理	9票

宮下精二 東大理 8票

次点(同点の場合の順位はいくじによる)

1.	上田和夫	東大物性研	8票
2.	鈴木順三	名大理	8票

京都大学基礎物理学研究所共同利用委員 選挙結果 (同点の場合はいくじによる)
(平成18年12月—平成20年11月) 69名投票

赤井久純	阪大理	13票
山下護	三重大工	7票
永長直人	東大工	6票
平島大	名大理	6票

次点(同点の場合の順位はいくじによる)

1.	三宅和正	阪大基礎工	6票
2.	鈴木順三	名大理	5票
3.	嶋原浩	広島大先端	5票
4.	坪田誠	大阪市大理	5票
5.	草部浩一	阪大基礎工	5票
6.	青木秀夫	東大理	5票

注) 該当者のうち京都大学基礎物理学研究所運営委員に選出された以下の者は除く。

川村光	阪大理	9票
川上則雄	阪大工	7票

物性物理専門委員会で選挙を行ってきた各種委員の最近のリスト

1. 物性委員会幹事、任期3年

物性委員会交代年の8月に選挙

H18.10-21.9 佐藤(正)、高島、後藤、北岡、大貫、巨海、三宅、秋光、前川、
上田(和)、福山、前野、矢ヶ崎、坪田、鈴木、宮下、小田垣、高橋(隆)、
押山、川上

2. 物性研人事選考協議会委員、任期2年

1年ごとに3名と2名が交代

物性委員会で選挙

委員推薦時期 8月中旬

職務は論文等を精読し業績評価を行なう。

H19.4-21.3 三宅、高島
H18.4-20.3 後藤、村上、西森
H17.4-19.3 永長、北岡
H16.4-18.3 鹿兒島、川上、中村
H15.4-17.3 佐藤(正)、安藤
H14.4-16.3 大貫、倉本、水崎
H13.4-15.3 前川、十倉
H12.4-14.3 菅、三宅、西田
H11.4-13.3 山田(耕)、遠藤
H11.4-12.3 前川
H10.4-12.3 張、本河、福山
H9.4-11.3 斯波、小林
H8.4-10.3 川村、石黒、藤田

3. 物性研協議会委員 任期2年

5名

H18.9-20.8*) 熊谷、宮島、宮下、中村、前野、金子
H16.9-18.8 倉本、北岡、青木、鈴木、佐藤(英)

H14.9-16.8 前川、佐藤(正)、西田、大貫、高島
H12.9-14.8 巨海、佐藤(正)、西田、三宅、山田(耕)
H11.3-12.8 鈴木(治)
H11.1-12.8 菅
H10.9-12.8 遠藤、斯波、張
H8.9-10.8 遠藤、斯波、小林、藤田、秋光

*) これ以降は日本学術会議が推薦

3. 物性研共同利用施設専門委員会 任期2年

1年ごとに8名と7名が交代

推薦依頼時期 8月中旬(11月中旬までに物性研へ推薦回答)

H19.4-21.3 高島、前野、巨海、和田、鈴木(孝)、野末、天児
H18.4-20.3 繁岡、宇田川、和田、村田、田島、松田、石田、高橋
H17.4-19.3 仲間、高畑、巨海、吉村、山田(和)、前野、熊谷
H16.4-18.3 高野、後藤、小口、石川、野尻、村田、和田、大貫
H15.4-17.3 野末、北岡、赤井、前野、高橋(隆)、水貝、奥田
H14.4-16.3 高島、山田(和)、岩佐、太田、巨海、畑、谷口、樽茶
H13.4-15.3 熊谷、佐藤(英)、酒井、後藤、宇田川、矢ヶ崎、高柳
H12.4-14.3 村山、三宅、佐藤(正)、大貫、北岡、鈴木、網代、水崎
H11.4-13.3 太田、前川、巨海、倉本、前野、大門、高島
H10.4-12.3 高橋(隆)、嶽山、山田(和)、山田(耕)、田中(耕)
城、川上(正)、栗原(進)
H9.4-11.3 栗田、水崎、佐藤(正)、三宅、北岡、伊藤、藤田
H8.4-10.3 遠藤、倉本、斯波、梶田、鈴木、菅、大貫、宮下

4. 京都大学基研運営委員 任期2年

4名 連続3選は禁止

委員推薦時期 2月

2007.8-2009.7 倉本、川上、川村、宮下
2005.8-2007.7 三宅、福山、前川、倉本
2003.8-2005.7 福山、斯波、三宅、前川
2001.8-2003.7 山田(耕)、安藤、斯波、倉本
1999.8-2001.7 山田(耕)、安藤、倉本、張
1997.8-1999.7 斯波、福山、鈴木(増)、興地

1995.8-1997.7 斯波、川村、鈴木(増)、興地

1993.8-1995.7 山田(耕)、安藤、福山、川村

5. 京都大学基研共同利用委員 任期2年

4名

委員推薦時期 11月

京都大学基礎物理学研究所運営委員に選出された者は除く。

2006.12-2008.11 赤井、山下、永長、平島、

2005.4-2006.12 本田、三宅、赤井、川村

拡大物性委員会インフォーマルミーティング

2006年3月27日 18:00-20:30

愛媛大学 日本物理学会第61回年次大会 XD会場

[参加者]

(物性研)上田, 家, (青学大)秋光, (理研)河野, (原子力機構)藤井, (Spring-8)桜井, (名大)中村, (首都大)佐藤, (KEK)池田, (中央大理工)杉本, (琉球大)矢ヶ崎, (東北大理)倉本, 村上, (京大基研)常次, (筑波大)大塚, (学習院大)高橋, (東大総合)鹿児島, (北大理)野村, (東大/理研)高木, (大阪市大)村田, (高島)九大理, (JPSJ)斯波, (新潟大自然)後藤, (神戸大理)播磨, (大阪府大工)石田, (理研播磨)寿栄松, (東北大)福山, (名大理)佐藤(正), 鈴木, 平島, 和田

[報告]

1. 物性研(上田)

- ・ 人事異動: 助手5名退職, 助手4名採用, 4/1に中辻, 押川所員着任予定, 公募審査中2件
- ・ H18年度共同利用, 客員所員, 外国人研究員が決定した。
- ・ 共同利用における知的財産権について申請書に明文化
- ・ 「国際超強磁場科学研究施設」新設
- ・ 外部評価(2005年11月)があり, その報告書の説明
- ・ 物性研の各種委員の推薦
運営協議会委員は学術会議に推薦を依頼, 人事選考委員と共同利用専門委員は物性委員会に推薦を依頼する
- ・ 高輝度放射線光源
東大アクションプランWGで検討された。物質と生命分野を対象とする施設を, Spring-8やPFにおいて作ることが答申された。

2. 基研(常次)

- ・ 人事異動: 素粒子助教授1名転出, 同1名着任; 選考中 教授2名(統計・物性、物性)、助手1名(素粒子)
- ・ シンポジウム: YKIS2006(ハドロン物理)、YKIS2007(低次元系、委員長倉本)

- ・ 研究計画
- ・ 湯川生誕百年記念事業：記念企画展示、国際シンポジウム（12月11－13日）
- ・ COE
- ・ 外部評価
- ・ 19年度特別教育研究経費「クォークハドロン科学研究拠点」申請中
- ・ 共同利用および運営委員の推薦

3. 原研（藤井）

- ・ 去年10/1に原子力機構が設立。
先端基礎研究センター長はたの(分析学)。量子ビーム応用研究部門 藤井。
研究開発拠点：放射光・レーザーは関西光化学研究所，パルス中性子・ミュオンはJ-PARCセンター，原子炉中性子は東海研究開発センター
- ・ H18年度に「施設供用」がスタートする。
- ・ J-PARCの建設状況の説明があった。

4. Spring-8（寿栄松）

- ・ H17.10.1より運営体制が，理研・原研・JASRIから理研・JASRIの2者体制に移行。
年間50億の原研からの運営費は減る。
- ・ 理研プロジェクトのXFEL建設計画(2006-2010年)が認められた。
建設後は共同利用を予定。60nmレーザー施設はもうすぐ完成して共同利用される。
- ・ Spring-8の共用促進に関する法律改正に伴う措置
共用業務はJASRIが指定機関，施設の維持管理は理研の業務となった。
- ・ Spring-8の利用にかかるユーザーの消耗品実費負担がH18年度下期から開始
- ・ Spring-8分析サービス事業がH18年度から始まる。

5. KEK（池田）

- ・ 次期機構長，所長，副所長，施設長が決まった。
- ・ J-PARCセンターの発足(2/17)
- ・ PSシャットダウンに伴いパルス中性子とミュオン施設が停止。

6. 理研（高木）

・ 組織換えがあった

中央研究所，播磨研究所，仁科加速器センター（中性子，ミュオン，RALを含む）(ILAC福山委員長の意見：素核、物性、バイオ、工学のアメーバ体制の維持を図るべき)

・ 人事

4/1より（放射光構造物性）高田昌樹主任，（X線非弾性）Baron 準主任

・ プロジェクト

新規：「分子アンサンブル」（代表 加藤礼三）平成18年度～平成23年度

継続：「次世代ナノサイエンス」（代表 川合真紀）平成14年度～平成18年度

「電子複雑系科学」（代表 高木英典）平成17年度～平成21年度

7. 東北大金研（前川）

- ・ 人事異動： 福山秀敏教授が退職

8. ジャーナル（斯波）

・ JPSJの現状

購読数は伸びているが、投稿数は伸び悩み

百人委員会の声明は有効だった。中心研究者はJPSJに投稿するようにアピールすべき。

行政は国内紙を重視すべきだ。

・ 日本物理学会若手奨励賞の実施

2007年の年次大会から始める。領域ごとの人数は3年後にみなおす。

[議題]

1. 規約制定（佐藤）

- ・ 案を検討した。修正案をホームページにのせることとした。

2. 委員の推薦

- ・ 物性研より人事選考委員と共同利用専門委員の推薦依頼があり，了承された。
- ・ 基研より共同利用および運営委員の推薦依頼があり，了承された。

3. 物性委員長の選出

- ・ 次期物性委員会の委員長を倉本氏（東北大理），事務局長を村上氏（東北大理）に決定。

物性委員会インフォーマルミーティング

2006年9月23日 18:00-20:30

千葉大学 YB 会場

[参加者]

(物性研) 上田, 家, 常次, (京大理) 前野, 谷村 (京大基研) 早川

(阪大理) 竹田, (阪大基礎工) 三宅, (理研) 河野, (大阪市大理) 坪田, (青学大) 秋光, (東大総合) 鹿兒島, (東大理) 宮下, (東大工) 土井, (広島大) 宇田川, 高畑, (山口大理) 増山, (東北大理) 岩佐和晃, 村上, (東北大金研) 岩佐義宏 (筑波大物理) 大塚, (筑波大物工) 喜多, (分子研) 小林, (新潟大自然) 後藤, (原子力機構) 新井, (KEK) 池田, (富山大理) 石川, (中大理工) 中野, (JPSJ) 斯波, (東工大) 西田, (名大工) 斎藤, (名大工) 田中, (名大理) 上羽, 佐藤 (正), 鈴木, 和田

[報告]

1. 「物性委員会」規約改正案報告 (佐藤正俊)

2. 物性研 (上田)

・人事異動

採用・転入: 押川教授, 中辻助教授, 阿部助手, 常次教授木下助教授。

退職・転出: 今田, 渡辺, 大道, 辺土。教員公募: 6件審査中, 2件公募中。

H18年度客員所員, 外国人研究員 (客員分) が決まった。

・専門委員会委員 (物性物理 7名, 物理化学 2名) と人事専攻協議会委員 (物性 2名 (隔年で+物理化学 1名)) の推薦を物性委員会に依頼することになった。

3. 東北大金研 (岩佐)

・人事異動

次期所長: 中嶋一雄教授 (11月6日より)

就任: 米永一郎教授 (物理学専攻担当)、正橋直哉教授、今野豊彦教授

公募中: 古原研助教授 1名, 松岡研 助手 1名

・ワークショップ等

共同利用全 6件: うち「ナノクラスター機能活用新物質開発研究」大野教授 (横浜国大) 川添教授, 「Workshop on Organic Field Effect Transistors」谷垣教授 (東北大) 岩佐教授材料科学国際フロンティアセンター (IFCAM) による研究会・学校: 「3rd

Materials Science School for Young Scientists」(KINKEN-WAKATE 2006) 共催 21
世紀COE, 川崎教授

・外部評価の実施について

実施予定日 2006年10月26-27日

評価委員: 安岡弘志 (東大名誉教授 委員長), 高野 (京大化研), 伊達 (阪大名誉教授), 寺倉 (北大創成), 小原 (JFE技研), 永田 (東工大理工), 野城 (阪大接合研) 長谷川 (北大名誉教授), 森永正彦 (名大院工),

4. 基研 (早川)

・人事異動

転出: 杉本 茂樹 (素粒子、助手), 太田 隆夫 (物性、教授), 常次 宏一 (物性、教授)

採用: 早川 尚男 (物性、教授), 寺島 靖治 (素粒子、助手), 遠山 貴己 (物性、教授), 國廣悌二教授 (副所長)

外国人客員招聘 (物性関係): 2007年度 1-3月 H.-J. Mikeska (Hannover Univ.),

2008年度 A. Aharony (Tel Aviv Univ.)

・研究会・西宮湯川記念理論物理学シンポジウム

YKIS2006 “New Frontiers in QCD--- Exotic Hadrons and Hadronic Matter”,
2006.11.20-12.8

YKIS2007 “Interaction and nanostructural effects in low-dimensional systems”,
2007.11.5-23

2006年度 “Noncommutative geometry and space-time in physics” 2006.11.11-15

2007年度 “What is Life? The Next 100 Years of Yukawa’s Dream” 2007.10.10-26

・2006年度後期研究計画 (物性関係)

11/16~18 基礎物理学の現状と未来—学問の系譜・湯川・朝永を受けて—

12/14~16 場の量子論の基礎的諸問題と応用一場の理論のトポロジ的側面—

12/25~27 粉体物理の現状と展望

2006.12.11-13 湯川朝永生誕百年記念シンポジウム

・時限教授ポスト: 2007/3/31 時限の「非平衡系物理学」分野は、「統計動力学」分野の名称で継続・恒久化。

- ・平成 19 年度特別教育研究経費申請

滞在型国際研究集会を申請。年 3 件（うち 1 件は物性関係）。

- ・運営関係

次期共同利用委員と次期運営委員を物性委員会に推薦依頼。

プロジェクトマネージャー公募予定（2006 年 11 月 30 日締切予定）

現所長の任期(2007/3/31)が終了。第 146 回運営委員会において次期所長の選出予定。

5. 原研（新井）

- ・ J-PARC の現状

2008 年完成。2009 年から供用開始。

物質生命科学実験施設：粉末解説装置、非弾性散乱装置、産業利用装置、など。

- ・ JRR-3 の現状

量子ビーム利用促進プログラムを 2006 年度創設。産業利用も促進。

中性子利用は、産業利用が伸びている。

6. Spring-8（桜井）

- ・ 国による SPring-8 の中間評価について

年内にも評価結果が提出される見込み。

- ・ X線自由電子レーザー（XFEL）試験加速器からレーザー光の発振に成功

- ・ タンパク質結晶メーリン測定サービス事業を 7 月より開始。

ユーザーは、試料を送付するだけで、測定データを得ることが可能となる。

- ・ 特定放射光施設の共用の促進に関する法律の改正

機構制から、オープンな登録制へ。登録機関（旧機構）の法定業務が縮小。

登録機関の法定業務は利用者選定と利用支援業務とされた。

- ・ 利用者の消耗品実費負担制度の開始。

2006B 利用期（9 月）から実施

7. 物構研（池田）

- ・ 人事： 下村所長体制の開始

- ・ PF 戦略会議と J-PARC 戦略会議

- ・ KEK 中性子・ミュオン施設クローズ

- ・ 海外のパルス中性子施設、ミュオン施設における実験を公募し、旅費を支援

- ・ ERL 推進室設立

- ・ J-PARC における中性子・ミュオン実験施設と実験装置の建設

8. 理研（河野）

- ・ 人事： 茅センター長再任

- ・ 仁科加速器研究センター 独立

- ・ スーパーコンピュータ開発スタート（1 千億）

- ・ 物質科学センターの人事： Spring-8 に高田研等

9. JPSJ の現状（斯波）

- ・ 論文投稿の現状： 少し減少。特集、招待論文を掲載/

- ・ プレスリリースを行っている

- ・ 来年 4 月から新編集委員長に交代予定

[議題]

1. 物性委員会（鈴木）

- ・ 物性委員会幹事の選挙結果

- ・ 物性研共同利用委員の推薦決定

- ・ 基研運営委員共同利用委員の推薦決定

- ・ 運営協議会委員

物性研は幹事の選挙で決める

基研は選挙結果をふまえて分野間のバランスを考えて選ぶ。

2. 物性研短期研究会（佐藤正俊）

- ・ 12/7-8 「新たな物性研究体制の構築」

名大と東北大の幹事でプログラムを決める。

3. 物理学会のありかた（佐藤）

- ・ 鹿児島次期物理学会委員長が改革案の説明

テーマに対して講演者を公募してはどうか

領域を横断するシンポジウム

当初の意図から変化し領域の固定化が危惧される。

平成 18 年 5 月

物理学会、年会と分科会の改革について

物性百人委員会委員各位

年 2 回開かれております物理学会のあり方について、以下の提案の是非を物性委員会の皆様にお聞きいたします。これらはじつは東大の鹿兒島誠一先生よりのお尋ねによるものです。物性グループとして今後の物理学会のあり方に一石を投じることにもなりますので、積極的なご意見をお待ちいたします。

- (1) 領域にとらわれないミニシンポジウム講演者の公募について。
次、もしくはその次の学会で問題として浮かび上がるだろうと予想されるテーマについて予めシンポジウムを設定し、その講演者を公募する。これは従来の講演者名を含めたシンポジウム提案とは異なるものとする。
- (2) 他領域のための領域紹介を目的とした超領域のシンポジウムの設置について。
他の領域関係者に簡単な研究紹介を行なうもので、若手研究者が狭い研究領域から視野を広げる機会を提供することにも通じるのではないかと考える。
- (3) 分科会をもっと細かくし、運営も独自なものとする。
このとき、分科によっては他の学会と共同で開催することも可とする。運営する人員の問題等、解決しなければならない問題も多いと思われるが、その可能性を探りたい。

以上です。このこと以外にも学会のあり方についてご意見をどしどしお寄せください。
(加えて、今後の物性委員会に対するご要望についてもお送りくださることを歓迎いたします。)
よろしくお願ひ致します。

物性委員長 佐藤 正俊
物性委員会事務局長 鈴木 順三

物理学会、年会と分科会の改革についての意見

上記の問いかけに対して、6 名の方から意見が寄せられました。それを項目ごとに要約しますと以下のようです。

- (1) に関して。
概して賛意を表したものが多かったと思います。ただ、誰がテーマを決めるのか？ そのための議論をどういうふうにするのか、講演者の半数だけ公募する、といった意見も出ています。いずれにせよ領域を固定化しないことが大切との考えが出されています。
- (2) について。
これに対しても (1) と同様賛意を表したものが多そうです。
- (3) に関して。
分科の細分化については、必ずしも賛同が多くありませんでした。統廃合を簡単にできるのがよい、という意見が多そうです。また、キーワードだけで分類したプログラムという案もありました。特に、分科の独立性を強調するようなものには反対、領域レベルで他と共同開催するのは意義があるといった意見がありました。賛成意見は 1 名のみでした。

平成 18 年度後期 短期研究会申請書

平成 18 年 6 月 11 日

東京大学物性研究所長 殿

提案代表者
所 属 名古屋大学
職 名 教授
氏 名 佐藤正俊 印
連絡先電話 052 - 789 - 3537 内線
FAX 052 - 789 - 2856
e メールアドレス e43247a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

下記のとおり短期研究会の開催を提案したいので申請します。

記

- 1 研究会の名称 新たな物性研究体制の構築
- 2 提案理由
「別紙添付」
- 3 開催期間
平成 18 年 12 月 7 日 ~ 平成 18 年 12 月 8 日 (2 日間)
開催時間 9:30 : 17:30
- 4 参加予定者数 約 50 名
- 5 希望事項 (○で囲む)
予稿集 : 有 ・ 無 其他希望事項
 公開 ・ 非公開
- 6 その他 (代表者以外の提案者: 所属機関・職名を記入のこと)
倉本義夫 (東北大・教授)、村上洋一 (東北大・教授)、鈴木順三 (名大・教授)、
秋光純 (青学大・教授)、広井善二 (物性研・教授)、高山一 (物性研・教授)

(別紙)

提案理由

大学の研究・教育体制が、その法人化によって大きく揺さぶられ、活動を推進するこれまでの手法が通じがたくなっております。また、学術会議の改編によって、物理学研究連絡会議を介した各研究分野の研究者コミュニティとそれとの連絡が今後、どのようになされていくのかも未だ不透明です。そのような中で、物性研究者の現場からの声を、いかに科学行政に反映させ、充実した研究・教育活動へと結び付けていくかについて十分な意見交換を進めることが、現在の重要課題となっています。ここでは、物性研究のコアとしての物性研の今後の役割、草の根組織としての物性委員会 (従来の物性百人委員会) の役割、大型予算要求のコミュニティからのサポート態勢、のほか、直面する具体的課題としての PD 問題、春と秋の物理学会の領域 (分科) 分け、研究資金の適正な配分、小規模科学の重要性の認識・位置付け、等について全国に分布する物性研究者が一堂に会して議論し、新たな時代に即した全国的研究体制の構築を目指して意見集約を行なう。

物性委員会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本会の名称を物性委員会という。これは従来の物性百人委員会を改称したもので、その事務局も任期までその任務を引き続き行う。

(事業所)

第2条 本会の事業所は事務局が所属する機関のある場所に置く。

第2章 目的及び事項

(目的)

第3条 本会は、物性分野の研究の発展を目指して、その分野における各種の意見調整やそれに基づいた提言、さらには親睦を図ることを目的とする。

(事項)

第4条 本会は、次の事項を行う。

- 一 全国の物性物理研究者間の連絡、意見交換の場を作り、必要ならば意見を集約し提言を行う。
- 二 日本学術会議の物理学研究連絡委員会（もしくはそれにかわる機関）との密接な連絡の役割を果たす。
- 三 全国共同利用機関の各種委員の推薦等を、要請に応じて行う。
- 四 その他、物性分野の発展に寄与するための活動を行う。

第3章 会員

(会員)

第5条 本会の会員は、次の条件を満たす者とする。

- 一 全国の大学、研究機関及びその他の場所において、物性分野の研究もしくは教育、さらにはそれに関連した事項に興味を有する者で構成するグループの代表者。ただし、代表者の人数はグループの構成員として登録した人数に応じて別に定める。

(会費)

第6条 各グループはその構成員数に応じて会費を納入しなければならない。会費の納入は、原則として3年に一度とし、金額はグループの構成員数に応じて別に定める。

第4章 役員

(役員)

第7条 本会に、次の役員を置き事務局を構成する。

- 一 委員長

二 事務局長

三 事務局幹事 若干名

(役員の任期)

第8条 役員任期は、3年とする。

(委員長の職務)

第9条 委員長は本会を代表し、事務局構成員と協力して本会の運営を統括する。

(監査人)

第10条 本会に会計を監査する監査人2名を置き、事務局を構成する機関以外の構成員から選出する。

(監査人の任期)

第11条 監査人の任期は、3年とする。

(役員及び監査人の選出)

第12条 本会の事務局メンバー及び監査人の選出は物理学会に合わせて開かれる(拡大)物性委員会で行う。

第5章 幹事

(幹事)

第13条 本会に、幹事20名を会員の選挙により選出する。

(幹事の任期)

第14条 任期は事務局の任期と同じ3年とする。

(幹事の職務)

第15条 幹事は、委員長及び事務局と協力して、本会の運営にあたる。

第6章 経理

第16条 本会の経費は各グループからの会費によって運営する。

第17条 監査報告は、原則として事務局交替の次の物理学会時に行われる(拡大)物性委員会において行う。

附則

この規約は平成18年4月1日より施行する。

追加名簿

機関名 : 高エネルギー加速器研究機構
部局名 : 物質構造科学研究所
住所 : 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1
グループ名 : ミュオン物性
連絡責任者 : 門野良典 (e-mail) ryosuke.kadono@kek.jp (tel) 029-864-5625
(fax) 029-864-5623
百人委員1 : 門野良典 (e-mail) ryosuke.kadono@kek.jp (tel) 029-864-5625
メンバー : 門野良典(ミュオン物性), 幸田章宏(ミュオン物性), 佐藤宏樹(ミュオン物性)

機関名 : 千葉大学
部局名 : 教育学部
住所 : 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
グループ名 : 基礎物性
連絡責任者 : 加藤徹也 (e-mail) tkato@faculty.chiba-u.jp (tel) 043-290-2597
(fax) 043-290-2597
百人委員1 : 東崎健一 (e-mail) tozaki@faculty.chiba-u.jp (tel) 043-290-2595
メンバー : 東崎健一(物性実験) 加藤徹也(物性実験)

機関名 : 東京大学
部局名 : 大学院工学系研究科
住所 : 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院工学系研究科 物理工学専攻
グループ名 : 物性理論
連絡責任者 : 初貝安弘 (e-mail) hatsugai@pothos.t.u-tokyo.ac.jp (tel) 03-5841-6809
(fax) 03-5841-6866
百人委員1 : 初貝安弘 (e-mail) hatsugai@pothos.t.u-tokyo.ac.jp (tel) 03-5841-6809
メンバー : 初貝安弘(物性理論), 今田正俊(物性理論), 丸山勲(物性理論), Hung Song(物性理論), 絹原政樹(物性理論), 丹下正章(物性理論)

機関名 : 神奈川大学
部局名 : 工学部物理
住所 : 〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
グループ名 : 物性理論
連絡責任者 : 田沼慶忠 (e-mail) tanuma@n.kanagawa-u.ac.jp (tel) 045-481-5661
百人委員1 : 田沼慶忠 (e-mail) tanuma@n.kanagawa-u.ac.jp (tel) 045-481-5661
メンバー : 田沼慶忠(物性理論)

機関名 : 東京大学
部局名 : 物性研究所
住所 : 〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号
グループ名 : 物性理論
百人委員2 : 加藤岳生 (e-mail) kato@issp.u-tokyo.ac.jp
(tel) 04-7136-3255 (fax) 04-7136-3258
メンバー : 高田康民(物性理論), 上田和夫(物性理論), 高橋實(物性理論), 加藤岳生(物性理論), 前橋英明(物性理論), 城石正弘(物性理論)

機関名 : 京都大学
部局名 : 工学研究科化学工学
住所 : 〒615-8510 京都市西京区京都大学桂
グループ名 : 移動現象論分野
連絡責任者 : 山本量一 (e-mail) ryoichi@cheme.kyoto-u.ac.jp
(tel) 075-383-2682 (fax) 075-383-2682
百人委員1 : 山本量一 (e-mail) ryoichi@cheme.kyoto-u.ac.jp
(tel) 075-383-2682
メンバー : 山本量一(計算物理学), 岩下拓哉(統計力学, 移動現象論), 久一真信(移動現象論)

機関名 : 金沢大学大学院
部局名 : 自然科学研究科数物科学専攻
住所 : 〒920-1192 金沢市角間町
グループ名 : 計算物性
連絡責任者 : 斎藤峯雄 (e-mail) m-saito@cphys.s.kanazawa-u.ac.jp

(tel) 076-264-6132 (fax) 076-264-6132

百人委員1 : 齋藤峯雄 (e-mail) m-saito@cphys.s.kanazawa-u.ac.jp (tel) 076-264-6132
メンバー : 齋藤峯雄 (計算材料科学), 高須昌子 (物性理論), 小田竜樹 (物性理論), 石井史之 (物性理論)

機関名 : 東京大学
部局名 : 物性研究所
住所 : 〒277-8581 柏市柏の葉5-1-5
グループ名 : 量子物性
連絡責任者 : 家 泰弘 (e-mail) iye@issp.u-tokyo.ac.jp (tel) 04-7136-3300 (fax) 04-7136-3300
百人委員1 : 家 泰弘 (e-mail) iye@issp.u-tokyo.ac.jp (tel) 04-7136-3300
メンバー : 家 泰弘, 勝本 信吾, 遠藤 彰, 阿部 英介, 橋本 義昭

機関名 : 京都大学
部局名 : 基礎物理学研究所
住所 : 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
グループ名 : 統計動力学
連絡責任者 : 早川尚男 (e-mail) hisao@yukawa.kyoto-u.ac.jp (tel) 075-753-7024 (fax) 075-753-7071
百人委員1 : 早川尚男 (e-mail) hisao@yukawa.kyoto-u.ac.jp (tel) 075-753-7024
メンバー : メンバー氏名 1(専門分野), メンバー氏名 2(専門分野), ... 早川尚男 (統計動力学), 河原田篤 (統計動力学), 光藤哲也 (統計動力学), 西野貴博 (統計動力学), 三森隆広 (統計動力学)

機関名 : 東京大学
部局名 : 工学系研究科物理工学
住所 : 〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1
グループ名 : ソフトマター物理
連絡責任者 : 土井正男 (e-mail) doi@rheo.t.u-tokyo.ac.jp (tel) 03-5841-6821 (fax) 03-5841-6821
百人委員1 : 土井正男 (e-mail) doi@rheo.t.u-tokyo.ac.jp (tel) 03-5841-6821
メンバー : 土井正男 (ソフトマター物理)

機関名 : 九州大学
部局名 : 理学研究院・物理学部門
住所 : 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
グループ名 : 凝縮系基礎論 II
連絡責任者 : 中西秀 (e-mail) naka4scp@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp (tel) 092-642-2568 (fax)
百人委員1 : 中西秀 (e-mail) naka4scp@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp (tel) 092-642-2568
メンバー : 中西秀 (非平衡統計物理学), 野村清英 (低次元量子系), 御手洗菜美子 (非平衡統計物理学)

機関名 : 大阪大学
部局名 : 基礎工物性
住所 : 〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3
グループ名 : 阪大 NMR
連絡責任者 : 北岡良雄 (e-mail) kitaoka@mp.es.osaka-u.ac.jp (tel) 06-6850-6435 (fax) 06-6850-6438
百人委員1 : 北岡良雄 (e-mail) kitaoka@mp.es.osaka-u.ac.jp (tel) 06-6850-6435
メンバー : 北岡良雄 (物性物理), 椋田秀和 (低温物理), 八島光晴 (超伝導物理), 原田淳之 (超伝導物理)

機関名 : 東京大学
部局名 : 理学部物理
住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
グループ名 : 2)物性理論, 統計力学
連絡責任者 : 宮下精二 (e-mail) miya@spin.phys.s.u-tokyo.ac.jp (tel) 03-5841-4192 (fax) 03-5841-4247
百人委員1 : 宮下精二 (e-mail) miya@spin.phys.s.u-tokyo.ac.jp (tel) 03-5841-4192
メンバー : 宮下精二 (物性理論・統計力学), 齊藤圭司 (物性理論・統計力学), 肘井敬吾 (物性理論・統計力学), 田中宗 (物性理論・統計力学), 小西優祐 (物性理論・統計力学), 山本啓介 (物性理論・統計力学), 平野真樹 (物性理論・統計力学)

機関名 : 筑波大学
部局名 : 数理物質科学研究科物質創成先端科学専攻

住所 : 〒305-8571 つくば市天王台 1-1-1
グループ名 : 計算物質科学
連絡責任者 : 押山淳 (e-mail) oshiyama@comas.frsc.tsukuba.ac.jp (tel) 029-853-5908 (fax) 029-853-5924
百人委員 1 : 押山淳 (e-mail) oshiyama@comas.frsc.tsukuba.ac.jp (tel) 029-853-5908
メンバー : 押山淳 (計算物質科学)、白石賢二 (物性理論)、岡田晋 (計算物質科学)、ボエロマウロ (計算生命科学)、館野賢 (計算生命科学)

機関名 : 京都大学
部局名 : 理学研究科物理第一
住所 : 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
グループ名 : 固体量子物性
連絡責任者 : 前野悦輝 (e-mail) maeno@scphys.kyoto-u.ac.jp (tel) 075-753-3783 (fax) 075-753-3783
百人委員 1 : 前野悦輝 (e-mail) maeno@scphys.kyoto-u.ac.jp (tel) 075-753-3783
百人委員 2 : 石田憲二 (e-mail) kishida@scphys.kyoto-u.ac.jp (tel) 075-753-3752
メンバー : 前野悦輝(固体量子物性、低温), 石田憲二(固体量子物性、核磁気共鳴), 中辻知(固体量子物性、低温), 矢口宏(固体量子物性、低温), Kriener, Markus(固体量子物性、低温), 北川健太郎(固体量子物性、核磁気共鳴), 町田洋(固体量子物性、低温), 村川寛(固体量子物性、核磁気共鳴), 井原慶彦(固体量子物性、核磁気共鳴), 米澤進吾(固体量子物性、低温), 中井祐介(固体量子物性、核磁気共鳴), 南部雄亮(固体量子物性、低温), 小沼圭介(固体量子物性、低温), 橘高俊一郎(固体量子物性、低温), 高津浩(固体物性)(固体量子物性、低温), 竹谷英朗(固体量子物性、核磁気共鳴), 青野有造(固体量子物性、核磁気共鳴), 久我健太郎(固体量子物性、低温), 草場壽一(固体量子物性、低温)

機関名 : 九州大学
部局名 : 総合理工学研究院
住所 : 〒816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1
グループ名 : 表面物性
連絡責任者 : 栃原浩 (e-mail) tochihar@mm.kyushu-u.ac.jp (tel) 092-583-7130 (fax) 092-583-7130
百人委員 1 : 栃原浩 (e-mail) tochihar@mm.kyushu-u.ac.jp (tel) 092-583-7130
メンバー : 栃原浩(表面物性実験), 河合伸(表面物性理論), 成清修 (表面物性理論), 水野清義 (表面物性実験), 林賢二郎 (表面物性実験), 東相吾 (表面物性実験)

機関名 : 首都大学東京
部局名 : 理工学研究科物理
住所 : 〒192-0397 八王子市南大沢 1-1
グループ名 : 電子物性
連絡責任者 : 青木勇二 (e-mail) aoki@phys.metro-u.ac.jp (tel) 042-677-2512 (fax) 042-677-2483
百人委員 1 : 佐藤英行 (e-mail) sato@phys.metro-u.ac.jp (tel) 042-677-2507
メンバー : 佐藤英行(電子物性実験), 青木勇二(電子物性実験), 桑原慶太郎(電子物性実験), 川名大地(電子物性実験), 青木英和(電子物性実験)

機関名 : 東京理科大学
部局名 : 理工学部物理学科
住所 : 〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641
グループ名 : 物理学科
連絡責任者 : 半澤克郎 (e-mail) hanzawa@ph.noda.tus.ac.jp (tel) 04-7122-9121 (fax) 04-7123-9361
百人委員 1 : 半澤克郎 (e-mail) hanzawa@ph.noda.tus.ac.jp (tel) 04-7122-9121
メンバー : 守谷亨(物性理論), 小口明秀(物性理論), 元屋清一郎(磁性), 浜田典昭(物性理論), 半澤克郎(物性理論)

機関名 : 青山学院大学
部局名 : 理工学部
住所 : 〒229-8558 神奈川県相模原市淵野辺 5-10-1
グループ名 : 青山学院大学物性グループ
連絡責任者 : 秋光純 (e-mail) jun@phys.aoyama.ac.jp (tel) 042-759-6287 (fax) 042-759-6287
百人委員 1 : 秋光純 (e-mail) jun@phys.aoyama.ac.jp (tel) 042-759-6287
メンバー : 秋光純(物性実験), 久保健(物性理論), 松川宏 (物性理論), 古川信夫 (物性理論), 宮原慎 (物性理論), 御領潤 (物性理論), 堀田知佐 (物性理論), 村中隆弘 (物性実験)

機関名 : 富山大学
部局名 : 理学部物理

住所 : 〒930-8555 富山市五福 3190
グループ名 : 磁気・低温物理
連絡責任者 : 桑井 智彦 (e-mail) kuwai@sci.u-toyama.ac.jp (tel) 076-445-6586 (fax)
076-445-6549
百人委員 1 : 石川 義和 (e-mail) isikawa@sci.u-toyama.ac.jp (tel) 076-445-6583
メンバー : 石川義和 (物質開発), 桑井智彦 (低温物性測定), 水島俊雄 (磁気特性測定)

機関名 : 東京大学
部局名 : 物性研究所
住所 : 〒277-8581 千葉県柏市柏の葉 5-1-5
グループ名 : 固体化学
連絡責任者 : 広井善二 (e-mail) hiroi@issp.u-tokyo.ac.jp (tel) 04-7136-3445 (fax)
04-7136-3446
百人委員 1 : 広井善二 (e-mail) hiroi@issp.u-tokyo.ac.jp (tel) 04-7136-3445
メンバー : 広井善二 (固体化学)

機関名 : 京都大学大学院
部局名 : 理学研究科化学専攻
住所 : 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
グループ名 : 化学物理理論
連絡責任者 : 谷村吉隆 (e-mail) tanimura@kuchem.kyoto-u.ac.jp (tel) 075-753-4017 (fax)
075-753-4018
百人委員 1 : 谷村吉隆 (e-mail) tanimura@kuchem.kyoto-u.ac.jp (tel) 075-753-4017
メンバー : 谷村吉隆(非平衡統計力学、化学物理理論), 安藤耕司(化学物理、量子化学), 金賢得 (化学物理)、石崎章仁 (化学物理)、長谷川太祐 (化学物理)

機関名 : 宇都宮大学
部局名 : 工学部
住所 : 〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東 7-1-2
グループ名 : 数理物理
連絡責任者 : 矢嶋徹 (e-mail) yajimat@is.utsunomiya-u.ac.jp (tel) 028-689-6249 (fax)
028-689-6249
百人委員 1 : 矢嶋徹 (e-mail) yajimat@is.utsunomiya-u.ac.jp (tel) 028-689-6249

メンバー : 矢嶋徹 (数理物理・非線形波動・物性基礎論)

機関名 : 石川高専
部局名 : 一般教育科
住所 : 〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条
グループ名 : 物性理論
連絡責任者 : 沢田 功 (e-mail) sawada@ishikawa-nct.ac.jp (tel) 076-288-8055 (fax)
076-288-8075
百人委員 1 : 沢田 功 (e-mail) sawada@ishikawa-nct.ac.jp (tel) 076-288-8055
メンバー : 沢田 功(物性理論), 笠松健一(物性理論)

物性委員名簿 (H18.10.12 現在) 246 名

相澤秀昭 四方周輔 山口邦彦 石尾俊二 佐藤和弘 星野英興 竹ヶ原克彦
 村山茂幸 奥田浩司 三品具文 北孝文 伊土政幸 関根智幸 桑原英樹
 杉本秀彦 若林淳一 小林功佳 金田保則 五神真 江間健司 西田信彦
 斎藤晋 田中秀数 吉岡大二郎 鹿兒島誠一 望月章介 久保康則 勝藤拓郎
 田崎秀一 高橋利宏 真野博史 石井廣義 坂本浩一 打波守 佐々田博之
 齋藤幸夫 宗片比呂夫 山口益弘 君嶋義英 高橋正雄 豊田正 小堀洋 太田幸則
 小野嘉之 梶田晃示 桂川秀嗣 後藤哲二 小森文夫 石本英彦 久保田実
 渡部俊太郎 末元徹 柿崎明人 高田康民 加藤岳生 西山樟生 水落憲和
 柳澤孝 柏谷聡 有光敏彦 谷口伸彦 吉田恭 大塚洋一 五十嵐潤一 藤井保彦
 神戸振作 堀田貴嗣 円谷和雄 佐宗哲郎 近藤一史 佐藤一彦 毛利信男
 和田昇 樋口雅彦 安井勝 碓寛 海老原孝雄 鈴木順三 上羽牧夫 平島大
 佐藤憲昭 伊藤正行 佐藤正俊 小林義明 水貝俊治 井上順一郎 田仲由喜夫
 中村新男 埜藤博巳 佐野和博 畑徹 坪田誠 中山正昭 村田惠三 吉野治一
 小栗章 中村勝弘 大貫惇睦 杉山清寛 野末泰夫 小川哲生 川村光
 赤井久純 芦田昌明 菅滋正 清水克哉 三宅和正 鈴木直 草部浩一
 森田清三 川上則雄 菅誠一郎 笠井秀明 中西寛 谷口正輝 白井光雲
 江村修一 豊田 紘一 杉山正明 田口幸広 石田武和 内藤裕義 川又修一
 前川覚 富田博之 池田隆介 山田耕作 水崎隆雄 松原明 八尾誠 澤田安樹
 常次宏一 森成隆夫 相原正樹 山本一樹 平井國友 播磨尚朝 高橋慶紀
 小原孝夫 木下豊彦 宇留賀朋哉 寿栄松宏仁 櫻井吉晴 高田昌樹 水木純一郎
 青木勝敏 坂井徹 安藤由和 秋重幸邦 竹内潤 小野興太郎 藤井佳子 萬本義徳
 秋山宜生 大嶋孝吉 原田勲 町田一成 上田善武 橋爪邦夫 宇田川眞行
 星野公三 永井克彦 蔦岡孝則 高島敏郎 鈴木孝至 八木隆多 小口多美夫
 原純一郎 荻原 千聡 小山晋之 跡部紘三 松村政博 井上直樹 富吉昇一
 美藤正樹 橋本侑三 河江達也 和田裕文 巨海玄道 小田垣孝 吉森明 宮川賢治
 小隈龍一郎 黒田規敬 廣井政彦 藤井伸平 矢ヶ崎克馬 二木治雄 利根川孝
 菊池彦光 三嶋昭臣 潮田資勝 岩崎秀夫 梅本宏信 栗栖牧生 清水建次 飯田敏
 福原忠 柿沼藤雄 家富洋 後藤輝孝 土屋良海 檜田昭次 合田正毅 原田修治
 谷垣勝己 青木晴善 前川禎通 遠山貴己 小林典男 寺内正己 野尻浩之
 福山秀敏 高橋隆 佐藤宇史 村上洋一 小野寺秀也 倉本義夫 林正彦 大岩潔
 野村一成 和田信雄 門野良典 東崎健一 初貝安弘 田沼慶忠 山本量一
 斎藤峯雄 家泰弘 早川尚男 土井正男 中西秀 北岡良雄 宮下精二 押山淳
 前野悦輝 石田憲二 柄原浩 佐藤英行 半澤克郎 秋光純 石川義和 広井善二
 谷村吉隆 矢嶋徹 沢田功

グループへの新規加入・更新について

登録するグループには、それぞれのグループに属する会員を登録して下さい。会費は、登録会員数5名まで、年間1000円、5名を超えるごとに1000円ずつ加算されます。事務局報・名簿・その他送付される資料も、会費とともに部数が下記のように増加します。また、物性グループで行う選挙に投票権を持つ百人委員会の委員も下記のように登録会員数10人(端数は切上げ)につき1人の割合で出させていただきます。

会員数	1年間の会費	3年間の会費	名簿等送付部数	委員数
1～5人	1,000円	3,000円	1部	1名
6～10人	2,000円	6,000円	2部	1名
11～15人	3,000円	9,000円	3部	2名
16～20人	4,000円	12,000円	4部	2名
21～25人	5,000円	15,000円	5部	3名

各グループは、登録委員の中から1人の世話人を決めてください。世話人は以下の方法で登録してください。

【名簿情報新規登録・更新方法】 (H.18.10.31 まで)

- 新規登録・更新、共に <http://www.slab.phys.nagoya-u.ac.jp/bussei/>の中の
 新規登録・更新フォームから名簿情報を登録してください。不明な点は下記のメールアドレスに連絡してください。H18.11.1以降は東北大学に移ります。
 連絡先: bussei@slab.phys.nagoya-u.ac.jp
- 現在、平成19年までの会費を一括して払い込んでいただいております。新規の方は残りの年度分のみを入会時にお払いください。納入は、郵便局から下記の口座へ振り込んでください。

★H18.10.31 まで

郵便振替口座番号: 00880-6-96349

口座名: 物性グループ事務局(名古屋大学)

★H18.11.1 より

郵便振替口座番号: 18110-30577961

口座名: 物性グループ事務局(東北大学)

平成20年度から3年度分の会費は平成20年4月に入ってから集める予定にしております。
 手続きは、名簿の登録と会費の納入が事務局で受理されて完了します。
 物性グループ事務局(東北大学)

編集後記

物性事務局を名古屋大学理学研究科が担当して、佐藤正俊先生ご指導のもと、お蔭様で3年の勤めを無事終了させていただきました。物性グループの皆様、御協力本当にありがとうございました。今回で第3回目の事務局報です。名古屋大学担当としては最終ですので、物性グループの追加名簿の他に、現在の物性委員246名全員の氏名を掲載しました。

物性委員会は学術会議との関係はなくなりましたが、新しく制定された「物性委員会規約」にもありますように、物性グループとしての方針は従来と変わりません。しかしこれまでの3年間は過渡期であり、この10月から担当の東北大学の事務局が実質的には新しい体制の最初の事務局になります。よろしく願いいたします。

最後に、物性グループ事務局のホームページ (<http://www.slabs.phys.nagoya-u.ac.jp/bussei/>)の管理については、名大理物理S研の土射津昌久氏に大変お世話になっておりましたのでお礼申し上げます。

2006. 10. 16

鈴村順三 和田信雄 平島大

〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学 大学院理学研究科
物理学教室 S 研

物性グループ事務局

鈴木順三

FAX: 052-789-2928

Email: bussei@slab.phys.nagoya-u.ac.jp

<http://www.slab.phys.nagoya-u.ac.jp/bussei/>